



詰め掛けた来場者に向けて餅が豪快にまかれた = 輪之内町文化会館周辺

輪之内町で『ふれあいフェスタ2014』 町制60周年祝う！

「輪之内町ふれあいフェスタ2014」（同町実行委員会主催、岐阜新聞・ぎふチャン後援）は、10月4日（土）、5日（日）の両日、輪之内町中郷新田の文化会館なかごうしんでん一帯で開かれました。

今年、町制60周年にあたることから、木野町長ら3人が60年前の町の姿をテーマに鼎談ていたんしたり、町の歴史を写真でたどる企画展などが催されました。また、文化会館の駐車場では、地元保育園の年長園児107人による鼓笛演奏や薩摩義士彰徳会しょうとくかいなどによる踊りが披露され、イベントに花を添えました。会場には約70団体による展示や飲食バザーが出店され、花苗や新鮮野菜など、出店者らが丹精込めて作った商品がずらりと並び、それらを買求める客で一日中賑わいました。



園児のかわいい鼓笛演奏



薩摩義士の治水に感謝、鎮魂の踊り



輪之内町に生息する絶滅危惧種の淡水魚



昔懐かしい風景に思いを寄せる来場者＝リトルホール

写真で見る60年の歩み紹介

現在の輪之内町は、ふくつか 福束村、にき 仁木村、おおやぶ 大藪町が合併して、1954（昭和29年）に誕生。江戸時代から日常的に輪之内と呼んでおり、それがそのまま町名となりました。

合併当時の町役場や小中学校の旧校舎、水郷地帯の象徴とも言える輪中堤防や、昭和51年安八水害時の水防活動や渡船の風景など、当時の面影を伝える写真80点を展示。来場者らは昔の風景写真に見入り、当時を懐かしんでおられました。

『ヤギとのふれあいイベント』 地元園児が描いた絵画36点展示

本年9月16日（火）、国土交通省揖斐川第二出張所と加藤建設（株）が、堤防で行う除草作業のイメージアップ作戦と題して行った、「ヤギとのふれあいイベント」の様子を描いた絵画36点をボード一面に貼り出し、行き交う園児の父母や祖父母らに見ていただきました。朗らかに微笑み、ヤギに草を与えたり、頭をなでる園児の様子を描いた絵画を眺め、我が子の描いた作品に目を細めながら、記念にとカメラに収めていました。



園児の描いた絵画を見入り、談笑する家族 = 文化会館玄関口

< 揖斐川の治水対策 >

台風11号来襲時の『横山・徳山ダムの働き紹介』



揖斐川の増水状況を振り返る来場者

同じく、文化会館玄関先で、本年8月に来襲した台風11号における、揖斐川上流の横山・徳山の2つのダムの働きによる治水効果を紹介したパネル展示や、当出張所が作成した資料（「水」に関わる町名の由来【輪之内町編】）を配布したところ、熱心に見入る年配の方々の姿が印象的でした。

また、時折、訪れた町民の方々とお話をさせていただき、昔からこの地域に伝わる、明治29年の大水害の歴史や伝説、昭和51年安八水害時の必死の水防活動の状況など、色々と教えていただき、大変勉強になりました。